



平成28年6月1日発行

第42号

ながわまち 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会 ■編集／議会だより編集委員会



■長和町議会平成28年3月定例会は、「長和町新庁舎議場」で開催されました。■



●第42号／長和町議会 平成28年3月定例会

◇町長提案理由の説明	2
◇特別・常任委員会委員長報告／討論	..	4
◇3月定例会議案審議結果	9
◇一般質問	11
◇町の皆さんへのメッセージ	14



長和町議会3月定例会が、長和町庁舎議場に於いて、3月1日(火)から18日(金)までの18日間の会期で開かれ、平成28年度予算案、条例改正案などについて審議が行われました。

町長提案理由の説明

平成28年度の予算編成にあたりましては、平成27年度に引き続き、3期目の公約に掲げられた10項目の重点施策に関する各種事業の実施により、「豊かな自然・歴史・文化を引き継ぎ、輝き続ける長和町の創造」を実現するため、「元気が出る長和町！」を目指した予算案とさせていただきました。

「住民基本自治条例の制定」の関係では、住民の皆さんに一層の理解を深めていただくために、ワークショップの開催等を行なっていく予定であります。

「人口の減少に歯止めをかける施策」につきましては、空き家情報システムの機能の強化を図るほか、町の団体が行う婚活イベント等に対する補助についても引き続き実施し、結婚活動を推進して参ります。

「子育て支援」の関係では、

子育て支援センターの一層の充実、また、ながと保育園については、園庭・プール・駐車場等の整備を行ない、より良い保育園となるよう考えております。さらに、18歳以下の医療費無料化、高校通学費補助等についても引き続き実施していきます。

「観光資源を活用したまちづくり」では、トレインラン及びウイスキーフェスティバル、タイムラプスの開催等、イベント開催に係る補助を行ないます。更に、黒耀石採掘址群の保全・整備を図るために、ワークショップの開催等を行なっていく予定であります。

「生活弱者にやさしいまちづくり」では、「高齢者サポート事業」、高齢者の居住環境を改善するための「高齢者にやさしい住宅改良促進事業」、「配食サービス事業」、高齢者の居住環境を改善するための「高齢者にやさしい住宅改良促進事業」、「高齢者サポート事業」、高齢者の居住環境を改善するための「高齢者にやさしい住宅改良促進事業」、「配食サービス事業」等を引き続き実施していきます。

「行政サービスの充実と行政改革の推進」では、新庁舎が開庁して半月ほど経過したが開庁して半月ほど経過したわけですが、更に充実した行政サービスを提供して参ります。人事評価制度につきましては、職員の資質の向上等に繋がるよう努めて参りたいと考えております。

「安心して暮らせる医療体制の充実」では、依田窪病院や依田窪老人保健施設の運営

た、「住まい快適促進助成事業」、「地域いきいき券事業」を引き続き実施します。このほかに、えごま油、ひまわり油の製品化を図るため搾油機を購入し、新しい特産品の開発を進めていくほか、県の6次産業ネットワーク推進事業を活用した事業も引き続き実施していきます。

「魅力的なまちづくり」として、住宅用太陽光発電システム設置に係る補助を引き続き実施します。また、自主防災組織を結成していたら、必要な用品等について購入及び補助等を行なつていきます。このほかに「緊急・災害情報アプリ放送」の導入費用も予算計上させていただきました。

「児童生徒が安心して学習できる教育環境の整備」では、小中学校への町費による講師、心の相談員及びスクールカウンセラー等を配置することにより、子どもたちが健やかに育つていくための環境づくりを整備していきます。また、和田中学校については、平成29年度より依田窪南部中学校と統合するため、統合に係る経費の他、両中学校の交流、及び和田中学校の閉校に係る経費を予算計上させていただきました。

(抜粋)

平成28年3月定例会が開催される

平成28年度
予算

**一般会計57億3000万円
総額 86億7631万円**

3月定例会において、平成28年度一般会計及び特別会計予算が審議され、一般会計及び特別会計が全員賛成で可決されました。

平成28年度 長和町会計別予算額

会 計 名	28年度予算額	27年度予算額	増減額
一般会計	57億3000万円	62億6000万円	△5億3000万円
国民健康保険特別会計	8億6500万円	8億7400万円	△900万円
国民健康保険歯科診療所事業特別会計	2000万円	2100万円	△100万円
後期高齢者医療特別会計	8000万円	8000万円	0万円
介護保険特別会計	9億7200万円	9億2700万円	4500万円
同和地区住宅新築資金等貸付特別会計	101万円	125万円	△24万円
水道特別会計	4億2600万円	2億6600万円	1億6000万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	4億2900万円	4億4700万円	△1800万円
簡易排水施設特別会計	1130万円	1150万円	△20万円
観光施設事業特別会計	1億4200万円	1億4000万円	200万円
特別会計合計	29億4631万円	27億6775万円	1億7856万円
合 計	86億7631万円	90億2775万円	△3億5144万円

(△は減額を表します。)

歳 入 主な財源である税収入は、わずかながら増額が見込まれ、前年度より1.6%増の7億763万円。町の歳入のほぼ半分を占める地方交付税は、前年度とほぼ同額で0.9%増の25億3200万円。国・県支出金は、地方創生交付金などで7.2%増の5億9770万円。繰入金は庁舎建設等の完了により18.3%減の6億9440万円。道路改良関係・史跡整備関係・有機性廃棄物リサイクル推進施設・保育園環境整備事業等に伴う町の借金である町債は庁舎建設等が終了したため、43.8%減額の5億7810万円を見込んでいます。

歳 出 主な事業は、町指定文化財説明板設置事業940万円、星糞峠原産地遺跡保存整備事業5184万円、中学校統合事業1475万円、追分1号線・中道線改良工事9561万円、し尿処理施設建設事業1億3200万円、番組制作委託1080万円、地方創生関連事業5630万円、携帯アプリ放送委託151万円、町勢要覧作成1515万円、橋梁長寿命化事業2500万円、住まい快適促進事業600万円、巡回バス運行等委託1億306万円、子育て支援センター運営事業1096万円、松くい虫防除事業1375万円などを盛り込んだ予算となっています。

予算特別委員会審査報告



予算特別委員会

委員長／長井 武雄
副委員長／宮沢 清治
委員／竹内 英和・栗原 晓史
柳澤 貞司・原田 恵召
宮下 翼・田村 孝浩
伊藤 栄雄・羽田 公夫
森田 公明



長井 武雄
予算特別委員長

予算特別委員会が3月8日（火）・9日（水）に開催され、平成28年度一般会計予算案について審査が行われました。

平成28年度長和町一般会計 予算について

町民福祉課

問 備品購入費の、マイナンバー関連機器購入費とは。

答 国から導入を指導されている顔認証システムの導入費である。個人番号カード交付時や転入時等に、個人番号カードの写真と来庁者が同一人であるかの判定を顔写真をとらせて頂いて判定する機械である。

問 （個人番号カード）コンビニ交付は、町として行うことを考えているか。

答 まずは、個人番号カードの交付を安全確実に行うことを探している。コンビニ交付を導入している自治体の話を聞くと、莫大な経費がかかっており、費用対効果を検討して熟考し

ていく必要があると考えている。

問 尿処理施設は今年度どこまで建設するのか。また青木村からの運搬ルートはどうなっているのか。

答 28年度に実施設計によって、詳細が決定される。全体の25%相当、躯体工事ぐらいままでになると考えている。ルートについては、事前に実施した武石の周辺自治会への説明会で、武石の地域内を走らないようとの条件付きで同意いただいたため、国道から武石橋を渡つて施設に進入するルートになる。

問 教育課

答 おむつ用ごみ袋の無料配付について説明を。

問 丸木屋の運営管理について、具体的には、どのように行われるのか。

答 町長と子育て支援センター利用者との懇談会で要望された事業である。対象者は、長和町に在住し、2歳までの乳幼児を養育されている方で、乳幼児1名について月5枚を無料配付する。ごみ袋は、町指定の中袋とする。4月1日の基準日には2歳までの赤ちゃんが居る世帯については、こち

ね2ヶ月程度を予定している。6月か7月には工事の入札をしていきたい。工事は、先ず長門庁舎と会議棟を解体し撤去したうえで、駐車場等を整備していく。解体撤去工事については、アスベストを含有しているため、隣接している保育園や周辺のご家庭に配慮しながらの工事になる。そのため解体撤去工事の工期が若干長くなり、概ね9月前後を予定している。その後に駐車場整備工事等に着手するため、年度末の完成を見込んでいる。

問 「地域交流」を目的とした施設として、社会文教常任委員会に設置条例が付託されているが、一福処濱屋の管理を行っている「桐の会」に、一旦管理を依頼したいと考えている。

答 丸木屋を利用した店舗運営を希望する話もあり、今後、まちづくり政策係とも連携して、詰めていきたいと考えている。また、地元の皆さんに大いに利用してもらえばとを考えている。

らで対象者を抽出して申請書を送付する予定である。

問 和田中学校閉校記念行事は10月と聞いたが、やはりその時期が適切なのか。

答 中学校の文化祭に合わせて10月1日（土）に計画している。年度後半は、高校受験もあるため、影響が少ない時期に計画している。ただし、3月の卒業式後に閉校式も計画している。

問 ながと保育園の建設事業のタイムスケジュールを知りたい。

答 4月早々実施設計に向け

て事務を進めていくが、概

情報広報課

3月定例会 予算特別委員会審査報告



FM どうみへの放送委託事業について、その受信エリアはどの程度か。FM どうみで長和町のPRをするメリットはあるのか。

合上小地域であれば、空中波で受信が可能である。また長和町CATV の告知端末でも再送信を行つており、聞くことができる。さらには、スマートフォンやタブレット端末にアプリをインストールすることで、インターネット経由で FM どうみを視聴できるほか、お知らせなども受信可能。

空中波で長和町で一番受信状態が良いこと、地域の

等が断線した場合にも、音波でFMどうみを受信することができる。その他緊急を要する場合は、携帯電話のエリアメール等で対応していきたい。

答 現段階では特段影響のある話はない。現行制度での専用住宅用地に建物がなくなつた時に特例が外れ、固定資産税が上がることも問題となつてきてる。償却資産とは、法人や個人が事業のために使用する機械などの事業用有形固定資産で大きなものは鉄塔や送電線などである。

問 地方創生事業（空き家活用移住促進事業）の内容について説明を。

企画財政課

会等において、診療所などに意見も出している。検討委員会だけで判断・決定するものではなく、地元住民の皆さんからの意見募集やアンケートなども考えていくたい。

建設水道課

問 多面的機能支払事業で、現在どのくらいの割合の農地が該当になつていて、平成26年度の町全体の農地面積947haで割ると47%となる。活動組織名は。

答 現在443ha該当になつており、平成26年度の町全体の農地面積947haで割ると47%となる。活動組織名は、古町長久保・鷹山・上

名、長久保2名の計14名となり、均等はとれている。非農家1名については、一般的な良識として意見をいただくためのものと考えている。

イベントの告知を積極的に行っていること、他のFM局であればこの規模のPRをするには大金がかかってしまうこと、またFMとともに災害時の放送に関する協定を結ぶことにより、長和町の災害情報についても中心的に放送してもらうことが可能であること等を総合的に判断し、FMとうみにPRをお願いすることに

總務課

委託することを決定した。これにより、行政でやるべき部分とそうでない部分の区分けがはつきりすると考える。また、現場での取材等については、振興公社の職員が行っていくべきである。詳細については今後振興公社と協議していく。

答 今年度の取り組みの中でも取り組んだ町の事業を継続、発展させるため、「和田の明日を考える会」を含め、空き家を活用して移住や交流の促進を目指す団体の活動費の補助として計上した。

問 和田庁舎の跡地利用について、検討委員会での方向性は見えているのか。

組・青原・窪城・岩井・ダツ
タンそば組合・新屋・小茂ケ
谷・小日影・中山間(霧山)
である。

産業振興課

組・青原・窪城・岩井・ダツ
タンそば組合・新屋・小茂ケ
谷・小日影・中山間(霧山)
である。

平成28年度一般会計予算案に対する討論

— 2人の議員が賛成の立場で討論 —

平成28年度長和町一般会計予算案について、3月18日（金）の定例会本会議において、予算特別委員会の委員長報告が行われ、委員長報告に対する質疑の後、2人の議員が賛成の立場で討論を行いました。（掲載は発言順による抜粋）

賛成討論



栗原 晓史 議員

今回の予算は大きな公共事業が終わり、町民の新たな負担となるような条例改定もなく、大枠として了承します。その中で気づいた点を述べます。

保育料。同時入園でなくとも軽減措置がとられます。同時入園でない家庭の支援も必要であり、町の対応を歓迎します。

行政評価制度。職員の意欲を引き出す上で大切なことは、目指すべきまちづくりの方向に沿った目標が共有され、それを基準に一人一人が頑張っているか評価し、具体的な相談にも乗りながら話し合うことが、日頃から行われることです。要は上司と部下の間でのコミュニケーションです。上司、中でも町長が指導力を發揮できているのかが試されていることを肝に銘じるべきです。

アートをテーマとした構想事業。中心となるNPO法人ジャパン・イニシアチブの主軸は、インターネットを通じた民意集約、政治家勉強会、政治経済セミナー、政策提言事業などです。

この法人に適性があるか慎重に考えるべきです。町内には多くの芸術家がおられ、構想を練り上げていくに余りある知恵があります。そういう皆さんと構想を進めていくべきです。

病院への負担金。初めて運営経費の補助という形での財政措置をとります。組合議会へ提案された運営の立て直し案の方向は大枠として正しいと思いますが、具体化はこれからです。病院は絶対に必要です。病院長でもあり、迅速かつ慎重な運営を要求します。

和田中の統合運営。この1年は和田中生にとって掛け替えのない1年間です。必要な費用はきちんと使い、しっかりと中学校を運営してください。

丸木屋について。地域の皆さんとのコンセンサスを大切にした運営方針の検討を求めます。ながと保育園前の旧長門庁舎の取り壊し。アスベント問題もあり慎重に行うべきです。多少費用が嵩んでも最大限の配慮を求めます。

子供の貧困対策。子供の貧困に正面から立ち向かうかどうかは、自治体としての存在意義を問われます。迅速な取り組みを求めます。

（抜粋）



宮下 翼 議員

平成28年度一般会計予算案に対する賛成の立場で討論をいたしました。

私は、賛成の理由を3点だけ申し上げたいと思います。

1点目は、本予算案において

は、平成28年度からいよいよ取り組みを始める地方創生の事業及び事業予算が、多数の課・係に渡って盛り込まれた、今までに経験したことのない積極的な予算でございます。事業の総予算は5600億円であり、その2分の1の国交付金獲得を目指すものであり、事業は平成31年度まで継続する事業でございま

すので、行政、議会、町民一体となつての協力体制のもと、何としても幾つかの事業を軌道に乗せるべき予算でございます。

2点目は、歳出予算を前年度と比較してみると、前年より増加した項目は、衛生費が3億3300万円、率で47.2%の増加、民生費が1億4820万円の増加、率では14.0%、土木費が7750万円増加、率では17.9%の3カ所がござい

ますが、その他の項目においては、前年より予算減少でございます。予算が前年より増加した3項目の増加要因となる事業のほとんどは、計画的事業による歳出であると見られることでございます。

3点目でございますが、町債の調達方法がすぐれている点でございます。新年度の歳入における町債の調達額は、合計5億7810万円でございます。そ

のうち過疎対策事業債と合併特例事業債による事業が10本と、同じく有利な緊急防災・減災事

業債をあわせて、金額ベースでこの3つをあわせると全体の70%強を占め、これに臨時財政対策債28.2%を加えますと、金額ベースでございますが、98%を超えるものが極めて有利な方法で調達をされており、残る1本、たかやまスキー場改修の公営企業債850万円だけが利息が必要となるものでございます。以上、申し上げましたよ

うに、町債は極めて有利な方法である点でございます。
以上、3点申し上げましたとおり、本予算案は賛成すべきものと考へるものでございます。

（抜粋）

総務経済常任委員会審査報告

3月定例会 総務経済常任委員会審査報告



田村孝浩
総務経済常任委員長

総務経済常任委員会

委員長／田村 孝浩

副委員長／宮沢 清治

委員／竹内 英和

柳澤 貞司

長井 武雄

伊藤 栄雄



問 国道に布設されたマンホールの修繕も町が行うのか。また、車両の通行に伴いマンホールへの影響はどうか。

平成28年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算について

答 入れることはできる。ただし、供給単価に対し原価割れしている状況なので、料金改定は避けられない。適正に水道料金算定を行い値上げを検討していく。



国道142号線に設置されたマンホール

問 なるべく水道料金値上げにならないよう経費削減に務めて頂きたいが、企業経営移行後も一般会計からの繰り入れはできるのか。

答 公営企業繰出し基準に基づいて、一般会計から繰り入れすることはできる。ただし、供給単価に対し原価割れしている状況なので、料金改定は避けられない。

平成28年度水道特別会計予算について

条例、平成28年度特別会計予算などの議案について審査が行われました。

答 町で行う。現在のところ大きな不具合はない。今後維持管理の面からも調査を行っていきたい。

問 平成28年度簡易排水施設特別会計予算について

答 合併浄化槽の設置に補助はあるのか。また新規設置者はどの程度いるのか。

問 平成27年度一般会計補正予算(第4号)について

答 封することで、成果を上げてきました。永住者の滞納はほとんどない。滞納整理については滞納整理機関のチラシや財産差し押さえ等の文書を同封することで、成果を上げてきました。

問 平成27年度一般会計補正予算(第4号)について

答 術式予算の取りまとめが1月末ということもあり、先行き不透明であつたことから平成26年度の実績額を基に算出している。

総務課

問 人事院勧告に従つて、各市町村によつて是非とも上げなくとも良いのでは。

答 これまでも人事院勧告に従い上げることも下げることも行つてている。今回もそれに準じ改正を行う。

企画財政課

問 ふるさと納税の寄付件数は何件か。納税本来の趣旨を変えないとしているが、今後も同じ考え方か。

答 件数は21件です。今後も町の基本方針は変えない。

2件だが、別荘の方が10件ほど設置を行つていて、件数は多い。

問 平成28年度観光施設特別会計予算について

答 滞納状況と滞納整理はどのように行つていているか。

問 平成28年度観光施設特別会計予算について

答 除雪用重機借上料1250万円とあるが、教えて欲しい。

問 建設水道課

トサイトを導入することにより、ふるさと納税寄付金事業全体を充実する方向で動いています。

問 28年4月よりインターネットを導入することにより、ふるさと納税寄付金事業全体を充実する方向で動いています。

問 産業振興課

町内においてジャムづくりしている方もいると思うが、連携を取つて機械を使うことはできるのか。

答 来年度、地域おこし協力隊を中心に関連商品開発チームを作つてていく。一般の方でも新商品開発を検討している方がいれば一緒に取り組んでもらいたい。また、機械貸し出しについても商品衛生上問題がなければ貸し出しだすことは可能である。

(抜粋)

社会文教常任委員会審査報告



栗原 晓史
社会文教常任委員長

社会文教常任委員会

委員長／栗原 晓史

副委員長／森田 公明

委員／小川 純夫

原田 恵召

宮下 翼

羽田 公夫



問 平成28年度国民健康保険特別会計予算について

栗原 晓史
社会文教常任委員長

答 平成28年度国民健康保険特別会計予算について

平成28年度国民健康保険特別会計予算は、法定外繰入金と法定外繰入金との差額である。

問 繰入金とは法定外繰入金だと思うが、法定外という表現はしなくて良いのか。

町民が見た時にどのように説明をするのか。

あまり好ましい表現でないため、その他繰入金としている。町が負担している分があることを認識してもらいうため、広報等でお知らせする必要はあると思う。

社会文教常任委員会が3月10日(木)に開催され、条例、平成28年度特別会計予算、平成27年度補正予算などの議案について審査が行われました。

問 平成27年度一般会計補正予算(第4号)について

答 平成27年度一般会計補正予算(第4号)について

平成27年度一般会計補正予算(第4号)について

教育課

問 保育園の電気代について

答 旧わかば・大門保育園の電気は、消火設備等を維持するために、停止している。

問 和田小中学校間の道路石積み改修費用について

答 和田小中学校間の道路石積み改修費用であるが、当初予算是財源不足から積算額の半分程度であった。実際にこの金額では不可能となり、27年度では施工せず28年度予算で増額して計上している。

問 中学校管理予算の工事請負費が減額となつたのはなぜか。

中学校管理予算の工事請負費が減額となつたのはなぜか。

問 吊天井の撤去工事と吊り下げ式バスケットゴールへの補強工事を実施した精算と、和田小の窓ガラスに飛散防止フィルムを予定したが、強化ガラスと判明したため、その分の減額補正である。

問 平成28年度同和地区住宅新築資金等貸付特別会計予算について

答 平成28年度同和地区住宅新築資金等貸付特別会計予算について

減額されている理由は、過年度分については限ら

問 小学校改修事業について

答 今年度実施した小学校体

育館の吊天井撤去工事で、詳しく説明を。

問 電気自動車充電設備(道の駅)

答 シルバー人材センターへ委託しているが、周辺管理とマレットゴルフ場の管理を追加委託したことによる増額である。

問 町民福祉課

答 次世代自動車充電インフラ整備促進事業が減額補正

されていいるが、工事を次年度に回したということか。

答 工事は竣工しており、減額は入札差金によるものである。

問 老人クラブ助成費の減額は、クラブ数が減つたためなのか。

答 クラブ数は変わらないが会員数が減り、クラブの規模が小さくなつたことによる減額である。

問 定期予防接種事業で、90万円の減額ということだが、予防接種を必要な児童が受けなかつたということですか。

答 出生数が少なく10名分の減で、対象の児童が予防接種を受けていないということではありません。(抜粋)



電気自動車充電設備(道の駅)

問 電気自動車充電設備(道の駅)

答 出生数が少なく10名分の減で、対象の児童が予防接種を受けていないということではありません。(抜粋)

3月定例会 審議結果

3月定例会で審議された議案などの審議結果

◇報告（6件）

例月出納検査結果報告
指定管理監査報告
議員派遣報告
平成28年度長和町土地開発公社事業会計予算について
指定管理者の指定の取り消しについて（長門老人福祉センター）
指定管理者の指定の取り消しについて（和田老人福祉センター）

◇条例案（21件）

長和町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町公告式条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町役場支所の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町行政不服審査会条例の制定について	全員賛成・可決
長和町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町電気自動車等用充電器の設置及び運用に関する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町国民健康保険出産融資条例を廃止する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の全部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町活性化施設条例の全部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町集出荷貯蔵施設条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町公民館条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町長久保宿地域交流センター設置条例の制定について	全員賛成・可決

◇予算案（11件）

平成28年度長和町一般会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町国民健康保険歯科診療所事業特別会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町後期高齢者医療特別会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町介護保険特別会計予算について	全員賛成・可決

平成28年度長和町同和地区住宅新築資金等貸付特別会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町水道特別会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町簡易排水施設特別会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町観光施設事業特別会計予算について	全員賛成・可決
平成28年度長和町和田財産区特別会計予算について	全員賛成・可決

◇補正予算案（11件）

平成27年度長和町一般会計補正予算（第4号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町国民健康保険歯科診療所事業特別会計補正予算（第1号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町同和地区住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町水道特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町簡易排水施設特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町観光施設事業特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成・可決
平成27年度長和町一般会計補正予算について（第5号）	全員賛成・可決

◇人事案（1件）

長和町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることがあります。	全員賛成・同意
---------------------------------	---------

◇指定管理者の指定に関する案（12件）

指定管理者の指定について（長和町農林水産施設）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町集荷貯蔵施設）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町ふるさとセンター）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町プランシュたかやまスキー場）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町長門温泉やすらぎの湯）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町和田宿温泉ふれあいの湯）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町依田窪林業総合センター）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町高齢者生活福祉センター）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町デイサービスセンター長門）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町大門小規模ケア施設）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町和田小規模ケア施設）	全員賛成・可決
指定管理者の指定について（長和町和田コミュニティーセンター）	全員賛成・可決

◇上田広域連合基金に関する案（1件）

上田広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて	全員賛成・可決
---------------------------------	---------

◇発議（3件）

長和町予算特別委員会の設置について	全員賛成・可決
長和町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正する条例の制定について	全員賛成・可決
長和町議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成・可決

5人の議員が町政を問う —般質問

森田 公明 議員



答 町長 職員の資質向上のため様々な研修を行っている。また、28年度からは職員に対する人事評価制度を導入する。職員の実績や能力を適正に評価し、資質向上を図る。

長和町の特産品について

問 長和町の産業の育成について、その基本的な方針及び考え方は。

答 町長 長和町の産業の育成と企業などに協力支援をしていくことが重要である。そのため特産品の開発や販路拡大に対する支援や、新商品や技術開発に対する助成制度を設けるなど支援に努めてきた。

問 4月からの町の運営体制に対する方針と重点課題は何か。

答 町長 重点課題は人口減少対策が中心になる。長和町版の総合戦略と長期総合計画を柱に据え、仕事・人の流れを創出するよう事業を展開していく。特に、町の将来を担う子ども関係対策については子ども健康推進課を創設し、実効性のある子育て支援策を展開していく。

問 その他の課の再編は。

答 町長 総務課長が会計管理者を兼務し、その他は従前の通りである。

問 人材育成に対して長和町が行っている取り組みは。

答 副町長 積極的に長和町の特産品を町外に売り出していくためには、長和ブランドとして付加価値をつけて売り出していくことも必要かと思う。奨励品の中から町が特産品として認定できる基準をきちんと設ける

う。奨励品の中から町が特産品として認定できる基準をきちんと設ける

と現状は。また、その認識は。

答 町長 まるごと長和町は平成24年10月に町の情報を一元化し、全国に発信し、長和町の特産品や産業・観光振興を図ることを目的に委員会を設置した。現状では情報を紹介するサイトとしての運営を行っている。

問 まるごと長和町を委託している業者名と支払った委託料も含めて、これまでに要した経費は。

答 情報広報課長 業務はNPO法人ジャパン・イニシアチブに委託し、経費は1400万円ほどである。

問 この2年ほどはほとんど動いていない。事業の必要性や業者の選定も含めもう一度精査すべきだ。今後どのように運営していくのか。

答 町長 道の駅にある長和町情報館の空きスペースにアンテナショップ的な物産展示施設を設置し、さらに

特産品のストックヤードとしても活用し、インターネット販売の拠点としていきたい。

問 千曲川ワインバレー構想について町の考えは。

答 町長 本年2月に千曲川ワインバレー特区連絡協議会が設立され、特区内において本格的な事業が実施される予定である。

問 千曲川ワインバレー構想について町の考えは。

町の現状はこの特区の市町村の中で一番後ろを走っていると認識している。今後、事業実施に向けたプロジェクト委員会を設立し、事業戦略の策定、研修及び研究、人材育成を行い、事業化に向けた具体的な活動を行っていく。その後、ブドウ栽培について見通しがついた段階で、組織化を図り、実際の事業化を進めていきたい。そのための人材育成を来年度から進めていく。町内外からワイン産業の担い手を若干名募集し、県が主催する研修会やJ Aファーム・近隣ワイナリー・町内のブドウ栽培農家において実習及び研修をしていただく予定である。研修期間中は、最低限の収入を保障し、研修終了後は町内において主体的にワイン用ブドウの栽培及びワイン関係事業に取り組んで頂きたいと考える。

原田 恵召 議員



ともよく話をして進めていければと考えている。

振興公社の経営状況と監査について

医学生等奨学金貸付制度の創設について(その2)
問 依田窪病院の医師確保について、医学生の奨学金制度を創設する検討はしたのか。

答 町長 奨学金制度だけでなく研修資金等の給付制度、住宅購入補助など近隣市の取組を研究している。

問 この4月から依田窪病院の内科医が6人から4人になつたが、医師の確保をどのように考えているのか。

答 町長 医師確保は、最優先で取り組まなければならない課題と考えている。

問 医師の確保は町長や副町長の仕事かもしれないが、現状を鑑み専門に医師を確保する人を配置したらどうか。

答 町長 病院と連携を取り、上田市

きの後継者が辞めてしまったが、町から過去5年間、毎年150万円が立岩和紙保存技術伝承補助金として支出されていた。後継者が後継者でなくなつたからはその補助金は町に返還するべきでないか。人件費が足りないなら、最初から指定管理費に計上したらどうか。

答 町長 辞めるまでは後継者として勤めていたので補助金の返還は考えていない。

問 振興公社の経営について町の行政監査を行つたらどうか。

答 町長 町の監査委員に監査を求めることは考えていない。監査委員が監査の必要ありと判断されれば当然監査することになる。

問 活性化施設「蔵」について、味工房やまぶきの解散の説明を。

答 町長 味工房やまぶきは、トマト加工品・各種ジャムなども手掛けたが現在は豆腐と味噌のみである。豆腐についても、原価が高騰し、生産

すればするほど赤字になる。そこで昨年12月に役場と振興公社との協議により、この3月をもつてやめることに合意した。

問 「蔵」は4月からどのようにするのか。

答 町長 当面町が主体的に管理していく。地域おこし協力隊の拠点施設にならないか検討している。また、東京農大によるトマト加工品の製造販売、えごまの搾油、新規農産物の加工販売など、協議して取り組んでいきたい。



公開が始まった「丸木屋」(長久保)

中山道の国史跡への追加指定申請について

問 中山道の国史跡への長久保地籍の追加指定申請についてどのように取り組むのか

答 町長 申請の範囲は、長久保地区は笠取峠から松尾神社にかけての原道や長久保宿内、四泊の一里塚跡周辺、大門地区は落合橋周辺、和田地区は東餅屋茶屋周辺の追加指定を目指しているが、個人所有地を含んでおり所有者の同意が得られ、追加指定対象地が確定した時点での申請になる。

問 丸木屋の保存整備はこの追加指定と関係ないのか。整備にいくらかかったのか。その財源は何か、今後の管理はどうに行うのか。

答 町長 追加指定申請とは関係はない。工事費は6210万円。国庫補助の社会資本整備総合交付金2484万円、過疎債3720万円、一般財源6万円である。一福廻浜屋を管理している長久保の長生会女性会員を主体とする「桐の会」の皆さんに依頼していきたい。

宮下 翼 議員



しに向けての考えは。

答 建設水道課長 水道本管事業で起債を借り入れた返済金並びに管理費等の未収入金、また別荘契約者の減少が主な原因と考えている。別荘財政の立て直しに向けては、契約区画の再販、別荘契約者の地代管理費、水道料、料金未収入の納入の促進、別荘料金の適正単価の見直しなどの対応策で負担は軽減されていくと考えている。

問 学者村別荘地の景観及び景観整備の現状に対する町の認識は。

答 建設水道課長 ここ10年ほど前から別荘地では、定住者等の皆様と町で景観を考える会が発足し、別荘地



学者村総合管理センター

内の景観整備等の話し合いや実際の活動を進めている。中でも伐採景観整備の推進には力を入れ、木等の有効利用も合わせて別荘地の環境づくりを進めている。このことからも別

荘客の皆様は景観整備に対する意識が非常に高いことが伺われる。景観を考える会発足から別荘地の景観整備は少しづつはあるが改善されていると考えている。

問 町、地権者、別荘地利用者の三者が整備の遅れを取り戻すため、強めの整備作業を計画的に行うことが必要という共通認識に立つこと、協力体制への取り組みが必要だと思うがどうか。

答 建設水道課長 今まででは、開発年度、その時代ごとに単価を設定してきたものと思われるが、開発年度等で差がある管理費用は見直したいと考えている。今後の別荘地の維持をしていくために必要な適正単価に統一したいと考える。

まずは平成28年度より別荘の方々に説明をし、理解を得ながら1～2年後を目指して、管理費等を適正な統一単価に改定していくという計画でいる。

みという徴収である。開発当時の管理費については、当時の方針により賃借権より高めに設定をしたものと思われる。

問 学者村別荘地の管理費の今後について

答 建設水道課長 賃借権の方については、管理費と地代をいただいており、所有権の方については管理費の

問 観光施設事業特別会計の財政状況

が悪化した原因と今後財政の立て直しを行っている。

答 町長 昭和39年、木材の全面輸入自由化により、林業での収入に頼ることが成り立たない時代となる中で、これまでの山林収入に見合った収入をどのような事業を展開して地域に還元するかを調査研究し、財産区有林を活用した賃借権方式による別荘地開発へと転換を図ることにした。別荘の開発から販売までを町が責任をもつて行うことを基本条件として、町が責任を持ち直営別荘地の管理運営を行っている。

問 観光施設事業の財政状況と学者村別荘地の管理業務等について

問 町は何のために直営別荘地を運営するのか。

答 町長 昭和39年、木材の全面輸入

自ら別荘地では、定住者等の皆様と町で景観を考える会が発足し、別荘地

答 建設水道課長 ここ10年ほど前から別荘地では、定住者等の皆様と町

問 町、地権者、別荘地利用者の三者が整備の遅れを取り戻すため、強めの整備作業を計画的に行うことが必要という共通認識に立つこと、協力体制への取り組みが必要だと思うがどうか。

まずは平成28年度より別荘の方々に説明をし、理解を得ながら1～2年後を目指して、管理費等を適正な統一単価に改定していくという計画でいる。

答 建設水道課長 賃借権の方については、管理費と地代をいただいており、所有権の方については管理費の

栗原 晓史 議員



子供の貧困対策の具体的提案

問 子供の貧困対策の具体的な提案。

閣議決定された子供の貧困対策に関する大綱の指標に基づき現状を把握すべきだ。その実情をもとに総合的戦略的に支援体制を構築し、文字どおり子育て日本一の町をつくり上げたい。

答 町長 大綱の指標は、町の実態を

把握し、適切な支援のために必要な数値だ。町として直ぐに取り組めるもの、中長期的な目標を設定して取り組むべき施策を明確にし、子供たちの貧困に立ち向かう対策を推進したい。

問 噫緊の課題を具体的に提案する。

給付型の奨学金の創設。本来、奨学金は給付型であるべきで、世界ではそれが当たり前。現代は、卒業と同

時に正規での就職が約束されている時代ではない。給付型を導入する県や上田市に長和町も続いてほしい。

答 町長 子供たちが家庭の経済事情によつて教育の機会を失うことはあつてはならない。提案いただいた

内容、近隣市町村の動向、町財政も視野に入れて検討したい。

問 給食費低所得者対策の導入。貧困家庭にとって学校給食が子供の成長に欠かせない栄養源であることは常識。

4小中学校で保護者からいただく給食費合計は、約2500万円。相対的貧困層（全国平均で子ども達の六分の一）を対象にすれば、財源としては400万円位、半額補助な

どして全国から大きく立ち遅れている。阿部知事にも強く進言していた

だきたい。

答 町長 子供医療費窓口無料化は、

貧困から来る受診抑制という点からも国及び地方公共団体が喫緊に取り組むべき課題である。国、県に対し改めて要請していくたい。

ら200万円ができる。

答 町長 給食費の無料化を推進している市町村も確かにある。町の子育て支援の一環として子供の貧困対策も踏まえ、十分検討したい。

問 医療費窓口無料化。貧困子育て世帯が医療費を気にして診療が遅れ、重篤化を招いている。国に対して無料化のペナルティ一廃止の要請を。

長野県は、福祉医療費の窓口無料化が県段階として進まない数少ない県として全国から大きく立ち遅れている。阿部知事にも強く進言していく

だきたい。

答 教育長 町内外から寄贈していただき資料等を収集してまいりたい。図書館のスペースの問題もあるが、戦争関連のコーナーをつくって町民が閲覧できるように進めたい。

振興公社の社長選任について

問 振興公社の専任社長の必要性をどう考へているか。公募も含めて検討すべきではないか。

答 町長 企業経営に造詣が深く地域の状況や振興公社の役割をよく理解して公社の経営状況に見合った報酬で意欲的に取り組んでいただける人材がいたら、すぐに社長をお願いしたい。しかし、なかなか適任者がいない。公募も一つの手段だ。人物評価を正確に行うのは難しいが、ビジョンを持ちそれに見合う方を選ぶ方法の研究が必要だ。

は、空襲による焼失や故意の破棄によって多くが失われている。個人所蔵の資料や記録、個人の記憶に頼る部分が多く、大変意義がある。

答 教育長 町内外から寄贈していただき資料等を収集してまいりたい。図書館のスペースの問題もあるが、戦争関連のコーナーをつくって町民が閲覧できるように進めたい。



依田窪南部中学校の給食

戦争に関する町内諸出版物などの収集・管理について

問 個人のものも含めて戦争の実相を伝える町内の貴重な出版物、資料、物品などの所蔵・管理を町図書館等

で行い、後世に引き継げるようになることを提案したい。

答 町長 戦中や終戦直後の公の資料

3月定例会 一般質問

宮沢 清治 議員



「黒耀石遺跡と縄文文化」 の世界遺産の登録に向けた取組について

問 「世界遺産登録」への可能性をどう考え、そのメリットは。

答 町長 黒耀石遺跡は、世界遺産登録の可能性が十分あると認識している。当町だからこそ出来るという地域の魅力を発見し、発信していくことを含めた地域振興策に繋がると信じている。

問 町民の機運が高まつていくことが必要だと思うが、今後の策は。

答 町長 「黒耀石のふるさと祭り」や歴史遺産を活かした国際交流事業が始まっています。これらの取組を大切にし継続していきたい。

問 連携している茅野市、下諏訪町の「登録」への取組では、協調して事

業を進める必要があるうと思うが、今後の展開の進め方は。

答 町長 長和町・茅野市・下諏訪町・諏訪市・岡谷市・佐久穂町の6市

町と明治大学黒耀石研究センター・県立歴史館・県埋蔵文化財センターの研究機関からなる連絡協議会が発足した。その枠組みも視野に入れた世界遺産登録の検討が必要だが、核となる当町・茅野市・下諏訪町が連携を強め、共同で取り組むことの出来る事業展開の方法を協議したい。

問 国、県との連携での展開は。

答 町長 国・県や各専門家に今後の進め方や体制作り等について積極的にアドバイスを頂き、他の候補地が取り組んできた事業推進の内容を参考に、事業内容と段階的なスケジュールを検討し、実践していく。

空き家対策、特に倒壊等の恐れのある「空き家の取組状況について

問 空き家・危険家屋のランク別戸数はどうなっているのか?

答 町民福祉課長 A判定(問題なし)が305棟、B判定(危険度小)が114棟、C判定(危険度中)が22棟、D判定(危険度大)が44棟、

全体では485棟である。

問 D判定(危険度大)と判定した物件の進捗状況は。

問 問い合わせはあるが、いざ「申込書」を送付すると、2年間で登録はわずか1件にとどまったとのことであるが、その原因とその解決策は。

答 企画財政課長 申込書などの提出書類が面倒に感じる・賃料と現状談があり、苦情に関するものについては、所有者にその内容と早期改善を要望したが、いずれも改善には至っていない。

問 空き家の持ち主には危険な空き家を放置すべきでないとの気概や対処の姿勢で臨んでほしいが。

答 町民福祉課長 改修または解体等の措置を速やかに講じてもらうことは、費用面で難しいと推測されるが粘り強く対話を続けて行く。

移住・定住策である「空き家バンク」について

問 平成26年度、27年度の問い合わせ件数は。また、その対応と成果は。

答 企画財政課長 26年度は、「売却・賃貸」の問い合わせ3件、実際の申込みはなし。「購入・賃借」は6件、登録が4件、契約成立はない。27年度は、「売却・賃貸」の問い合わせは8件、登録が1件。「購入・賃借」は2件あり、「申込書」を送付した

が申込み登録はない。

問 問い合わせはあるが、いざ「申込書」を送付すると、2年間で登録はわずか1件にとどまったくのことであるが、その原因とその解決策は。

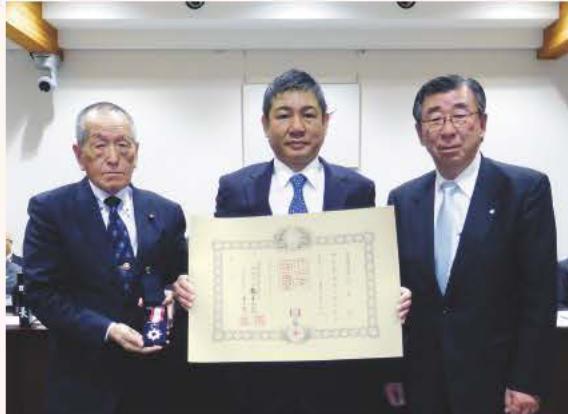
答 企画財政課長 申込書などの提出書類が面倒に感じる・賃料と現状談があり、苦情に関するものについては、所有者にその内容と早期改善を要望したが、いずれも改善には至っていない。

問 空き家・危険家屋のランク別戸数はどうなっているのか?

答 企画財政課長 町からの情報発信は、別荘も含め一元的に取り扱うことがより良いと思うので、今後そのような方向で考えていただきたい。

問 空き家情報を確認できるサイトを構築することが急務と思うが。

答 企画財政課長 積極的な情報収集に努め、一元的に管理・発信できるような仕組みを構築していただきたい。意欲のある民間団体や「地域おこし協力隊」制度を活用した人材登用なども考えていただきたい。



故中原 武さんが旭日単光章を受章

長久保（12区）の故中原 武さんが、「旭日単光章」を受章され、3月18日（金）に長和町役場議場において、長男の中原政幸さんに羽田町長から表彰状と勳章が伝達されました。

故中原 武さんは、昭和47年から3期12年間長門町議会議員として在職し、社会文教常任委員長を務めるなど、長年に渡って地方自治の発展に尽力していました。



全国町村議会議長会表彰 原田議員・長井議員が表彰される

全国町村議会議長会表彰として原田議員、長井議員が全国町村議会議長会より表彰され、3月1日（火）に長和町役場議場において、小川議長から表彰状が伝達されました。

この表彰は、町村議会議員として15年以上在職し、議会活動等を通じ地方自治振興及び発展に功労のあった議員に贈られるものです。

ながわまち
議会だより

委員長 竹内 英和
委 員 長井 武雄
田村 孝浩
羽田 公夫
森田 公明

町の皆さんへの
メッセージ

各議員が、日頃考えていることや住民の皆さんへのメッセージを書いています。今回は、伊藤栄雄議員です。

▽熊本・大分地方は起つた4月14日と16日の2度の大震は阪神・淡路の時に匹敵するくらいの規模の地震といわれています。多くの死傷者を出し、多くの建物の全半壊で10万人以上の人たちが避難生活という大惨事で、連日マスコミで報じられることは、記憶に新たな事と思います。

罹災者は、心よりお見舞申し上げます。

▽全国津々浦々で、何時起きるともわからぬ地震のメカニズム。それでも人は自然を畏懼しながら、尊び、共生しなければならない宿命を背負って、古今未曾有な大震災をも、幾多の先人達の脈々とした叡知と努力で乗り越えてきたから今日があると思います。加藤清正が築城したといわれる熊本城も、今回の震災で損傷がひどく、その姿に心が痛みます。▽今回の震災の教訓を他山の石とし、個々の人たちが予期せぬことが起こっても、常日頃備えあれば憂いなしの精神が肝要かと思います。また、いつもながら救出活動に奮闘された自衛隊・消防・警察・ボランティアの方々の労苦に感謝の念を禁じ得ません。

町の皆さんへの メッセージ

各議員が、日頃考えていることや住民の皆さんへのメッセージを書いています。今回は、伊藤栄雄議員です。

■議会だよりに関するご意見やご感想をお寄せ下さい。

■長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp